

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 3 月 11 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/11 11:00 時点)

| 号機 | 注水状況 | | 原子炉压力容器 下部温度 | 原子炉格納容器 圧力*1 | 原子炉格納容器 水素濃度 |
|-----|-----------|---------------------------------|-----------------|------------------|-----------------|
| 1号機 | 淡水 注入中 | 炉心スプレィ系：約 2.0 m ³ /h | 17.9 | 107.4 kPa abs | A系： 0.10 Vol % |
| | | 給水系：約 2.4 m ³ /h | | | B系： - *2 vol % |
| 2号機 | 淡水 注入中 | 炉心スプレィ系：約 5.5 m ³ /h | 31.6 | 5.45 kPa g | A系： 0.05 Vol % |
| | | 給水系：約 0.0 m ³ /h | | | B系： 0.07 vol % |
| 3号機 | 淡水 注入中 | 炉心スプレィ系：約 3.5 m ³ /h | 30.3 | 0.25 kPa g | A系： 0.17 vol % |
| | | 給水系：約 2.0 m ³ /h | | | B系： 0.16 vol % |

* 1: 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

* 2: 電源停止作業に伴うデータ欠測。

[2号機]・H25/3/10～3/16 原子炉注水設備における給水系の信頼性向上工事に伴う事前確認について、原子炉等の冷却状態に有意な変動のないことを確認できたことから、原子炉注水量変更を行い、給水系の信頼性向上工事を実施予定。

・H25/3/10 14:21 当該工事を実施するため、給水系からの注水量を約 1.9 m³/h から 0 m³/h、炉心スプレィ系からの注水量を約 3.5 m³/h から約 5.5 m³/h に変更。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (3/11 11:00 時点)

| 号機 | 冷却方法 | 冷却状況 | 使用済燃料プール水温度 |
|-----|----------|------|-------------|
| 1号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 15.0 |
| 2号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 15.6 |
| 3号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 12.8 |
| 4号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 25 |

* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

[4号機]・H25/3/12 使用済燃料プール代替冷却系の制御回路の修理工事に伴い、約4時間、当該冷却系を停止予定。使用済燃料プール水温は 25 (3/11 11:00 時点) であり、冷却系停止時のプール水温度上昇率評価は 0.369 /h で、停止中のプール水温上昇は約 2 と評価されることから、運転上の制限値 65 に対して余裕があり、使用済燃料プール水温管理上問題はない。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

| 号機 | 排出元 | 移送先 | 移送状況 |
|-----|---------------|--|--------------------|
| 3号機 | 3号機 タービン建屋 | 集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)] | 2/28 14:02 ~ 移送実施中 |

・H25/1/28 東北地方太平洋沖地震により、建屋および屋外トレンチが浸水している5・6号機について、建屋内の水位上昇を抑制するため、建屋内滞留水の移送を継続しているが、更なる安全性向上に資することを目的として、非常用ガス処理系*1の屋外トレンチから仮設タンクへの滞留水の移送を開始。

*1 原子炉建屋内の空気を高性能のフィルターで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B)の2系列ある。

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (3/11 7:00 時点)

| 設備 | セシウム 吸着装置 | 第二セシウム 吸着装置 (サリー) | 除染装置 | 淡水化装置 (逆浸透膜) | 淡水化装置 (蒸発濃縮) |
|------|--------------|-------------------------|------|------------------|------------------|
| 運転状況 | 停止中 | 運転中* | 停止中 | 水バランスをみて 断続運転 | 水バランスをみて 断続運転 |

* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

< 5 . その他 >

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5,6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H25/1/8～ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。
- ・H25/3/5～ 「4足歩行ロボット」および「小型走行車」を用いて、2号機ベント管下部周辺調査を、順次実施。
- ・H25/3/8 6号機原子炉建屋天井部については、H23/3/18 に水素爆発の防止を目的として穴を開けているが、現在6号機は冷温停止が維持されていて、プラントの状態も安定していることから、建屋の気密性維持を目的に、3/8よりその穴を塞ぐ作業を開始。3/11 13:00、当該閉止を実施完了。
- ・H25/3/11 9:22 2号機原子炉建屋のブローアウトパネル開口部を閉止。

以 上